

西原 稔 [音楽学] (専任就任:1989年4月1日)

1. 著書

書名	単著／共著	発行年月日	発行所	摘要
聖なるイメージの音楽	単著	1990年5月20日	音楽之友社	
ピアノの誕生	単著	1996年7月10日	講談社	
楽聖ベートーヴェンの誕生	単著	2000年6月24日	平凡社	
音楽史ほんとうの話	単著	2005年8月10日	音楽之友社	
クラシック名曲を生んだ恋物語	単著	2005年9月20日	講談社	
ブラームス(作曲家 人と作品シリーズ)	単著	2006年7月10日	音楽之友社	
クラシックでわかる世界史	単著	2007年10月25日	アルテスパブリッシング	
新版 音楽家の社会史	単著	2009年7月30日	音楽之友社	
音楽史ほんとうの話(韓国語版)	単著	2009年	Yoldaerim Publishing	
モーツァルト事典 (海老沢敏監修)	共著	1991年11月7日	東京書籍	分担「宗教都市ザルツブルクとモーツァルト——宗教風土と音楽」 pp. 97-102
鳴り響く思想 現代のベートーヴェン像(大宮真琴他監修)	共著	1994年10月24日	東京書籍	分担「ベートーヴェンの学習 音楽理論史の観点から」 pp.24-47
ベートーヴェン事典(平野昭・土田英三郎・西原稔監修)	共著・監修	1999年8月30日	講談社	分担「ベートーヴェンの協奏曲」pp.138-168。 「ベートーヴェン研究解題」pp.673-735
モーツァルティアーナ(海老沢敏先生古希記念論文集)	共著	2001年11月22日	東京書籍	分担「明治・大正時代における日本のモーツァルト受容」 pp.188-196
転換期の音楽 「転換期の音楽」(編集委員会編)	共著	2002年10月10日	音楽之友社	分担「田中正平の〈日本和声〉の理論と〈日本的なもの〉の思想」 pp. 399-407

ドイツ・ロマン主義研究(伊坂青司他監修)	共著	2007年1月20日	御茶の水書房	分担「ドイツ・ロマン派の音楽」 pp.257-279
「兼常清佐ミクロコスモス」	共著	2010年1月20日	大空社	兼常清佐著作集 別巻 分担「兼常清佐と西洋音楽」(p.205-218)
「ウィーン 他民族のフーガ」	共著	2010年3月20日	大修館書店	分担 「劇場都市ウィーンとオペラの世界」(p.199-238)

2. 学術論文

表題	単著／共著	年月日	発行雑誌・学会等の名称	摘要
ベルリオーズとその周辺——19世紀前期のフランスの管弦楽作品	全て単著	1990年2月	『フィルハーモニー』第63巻第2号 pp.19-25	
A. B. マルクスのソナタ形式理論とその歴史的意義——19世紀のソナタ形式の社会的機能		1990年12月	『桐朋学園大学研究紀要』第16集 pp.33-56	
モーツァルト時代のオペラ上演		1991年10月	小学館『モーツァルト大全集』第6巻 pp.76-81	
モーツァルトのオペラを生んだ作曲家たち		1991年11月	サントリー音楽展「モーツァルト」pp.156-161	
光のなかのヴィヴァルディ		1991年11月	『音楽芸術』第49巻 pp.-23-27	
ヴァグネリアン・エルガー		1991年11月	『フィルハーモニー』第63巻第10号 pp.14-21	
M. グルリットと日本——遺稿資料を通して見た日本の音楽文化		1991年12月	『ベルク年報第4号』ベルク協会編、pp.7-18	
残照のロマンティズム——プフィッツナーの憧憬の世界		1991年12月	『ベルク年報第4号』ベルク協会編 pp.73-87	
ウィーン・フィルとオーストリアの演奏活動		1992年3月	『音楽芸術』第50巻第3号 pp.18-23	
リヒャルト・シュトラウスの歌曲の表現をめぐって——「ムジカ・プロウサ」の旋律法をめぐって		1992年6月	『音楽芸術』第50巻第6号 pp.35-41	
批判者の鏡に映ったワーグナー		1992年10月31日～12月13日	サントリー音楽文化展「ワーグナー」 pp.138-143	
神格化される芸術家		1992年12月	『ポリフォーン』第11巻 pp.124-132	
K. プリングハイムと日本的和声の理論		1992年12月	『桐朋学園大学研究紀要』第18集 pp.19-37	
チェレプニンと日本的西洋音楽		1993年4月	『UR』第7号 pp.196-197	
ドレスデン時代のワーグナーとドイツ音楽		1993年5月	『年刊ワーグナー 1992』ワーグナー協会編 pp.132-155	
《オランダ人》《パルジファル》への関心 ドイツ語圏における上演		1996年1月	『年刊ワーグナー 1995』ワーグナー協会編 pp.165-168	
ワーグナーとパリのオペラ界		1996年10月	『年刊ワーグナー 1996』ワーグナー協会編 pp.66-81	
19世紀のチェンバロ復興		1996年7月	小学館『バッハ全集』第11巻 pp.88-100	

シューマンのワーグナー観 バッハと経済生活 Die Emigrantenmusiker und die Orcheterbewegung in Japan 産業史の視点か見た戦前における日本の ピアノ産業 シューマン全ピアノ作品新研究 全81回	1996年8月 1997年4月 1997年n.d. 1997年11月 1998年12月 ～2005年8月 2000年7月1 日 2002年10月 30日 2003年2月 15日 2003年12月 6日 2004年12月 4日 2004年9月1 日 2006年4月1 日 2006年10月 20日 2007年1月1 日 2007年2月1 日 2008年12月7 日 2009年6月1 日 2009年11月2 4日 2009年12月6 日 2009年12月6 日	『音楽芸術』第54巻第8号 pp.24-27 小学館『バッハ全集』第2巻 pp.144-158 Festschrift Ch.H.Mahling zum 65 Geburtstag pp.1, 023-1, 032 『比較文明第13号』地中海学会編 pp.98-115 『レッスンの友』 以下同じ 『ふえらむ 第5巻第7号』日本鉄鋼協会 編 2000年 pp.40-45 『桐朋学園大学研究紀要』第28集 pp. 15-32 『赤いはりねずみ 第30号 2002/2002』 ブラームス協会編 2003年 pp.3-31 『赤いはりねずみ 第31号 2003』ブラー ムス協会編 2003年 pp.26-47 『赤いはりねずみ 第32号 2004』ブラー ムス協会編 2004年 pp.5-35 『Philharmony 9月号』2004年 pp.37-42 読売日響『Orchestra 4月号』2006年 pp.32-35 日本ピアノ教育連盟紀要 第22号 2006 年pp.17-50 『Philharmony 1月号』2007年 pp.38-43 『Philharmony 2月号』2007年 pp.24-27 ブラームス協会編「赤いはりねずみ」 2008第36号 2008年pp.4-35 NHK交響楽団「フィルハーモニー」第81 巻第5号 桐朋学園大学研究紀要第35集 日本ブラームス協会会誌「赤いはりねず み」第37号 日本ブラームス協会会誌「赤いはりねず み」第37号
ピアノと鉄の文化——鑄鉄フレームの文 化史 音楽における「日本的なもの」の思想 そ の1 ブラームスとシューマン ブラームスのピアノ三重奏曲(Anhang5 イ 長調)の真偽の検証 ブラームス『ハンガリー舞曲』の成立とオ ーセンティンティエーの問題 イタリア器楽の新しい理想を求めて 19 世 紀イタリアの器楽曲とマルトゥッチ モーツァルトの交響曲——社会的背景と 楽器編成 パピヨンとシューマン初期のピアノ作品 労働と消費、家庭と国家の力学のなかの 音楽(前編) 労働と消費、家庭と国家の力学のなかの 音楽(前編) ブラームスの《ピアノ・ソナタ第2番》の音楽 語法——斬新な和声語法と表現の原風景 新旧ドイツ派の構想とその背景——ワー グナーとブラームスにおける近代の意味 J.N.フォルケルによる J.S.バッハの作品収 集過程と所蔵作品 シューベルト主義者ブラームス——「ワル ツ(作品39)の創作背景」 ブラームスにおけるバロック舞曲の作曲と その意義——「ガヴョット」(WoO3)「ジ グ」(WoO4)「サラバンド」(WoO5)創作の 背景		

3. その他(翻訳・監修等)

表題	単著／共著	年月日	発行雑誌・学会等の名称	摘要
ホノルカ『魔笛とウィーン——興行師シカ ネーダの時代』	単訳	1991年12月5日	平凡社	玉川 大崎
ヨーロッパの都市と音楽	共同監修訳	1992年9月5日	日本フォノグラム	
ウムバッハ『金色のソナタ』	共訳	1995年1月10日	音楽之友社	
オペラ事典	共訳・監訳	1996年3月25日	平凡社	
人間と音楽——ロマン主義の時代	監訳	1997年1月10日	音楽之友社	

クーバー 『ベートーヴェン事典』 祖国ポーランドへの愛	共訳 単著	1997年12月3日 2009年12月19日	平凡社 モーストリー・クラシック 第153巻	平野・横原
生きた音楽の足跡 ストラディヴァリウス	単著	2010年2月20日	モーストリー・クラシック 第155巻	
イギリスの作曲家の系譜	単著	2010年3月20日	モーストリー・クラシック 第156巻	
音楽史における「1810年」とは？	単著	2010年3月14日	東京・春・音楽祭プログラム	

4. 学会・研究会等での発表・講演等

表題	単独／共同	年月日／会場	発表学会の名称	摘要
現代の都市と聴衆	共同	1990年11月4日	日本音楽学会	シンポジウム
ブラームス「ホルン三重奏変ホ長調」 「ピアノ三重奏ハ短調」	共同	2005年12月4日	日本ブラームス協会 冬例会	解説
パピヨンとシューマン初期のピアノ 作品	単独	2006年3月29日	日本ピアノ教育連盟	
19世紀音楽文化再考	共同	2006年10月29日	日本音楽学会	シンポジウム
「J.N.フォルケルによるバッハの作 品収集過程と所蔵作品」	単独	2009年10月24日／ 大阪大学	日本音楽学会	

5. 学会、及び社会における活動状況（コンクール審査、マスタークラス、音楽祭、CDリリース等）

年月日	活動内容
[公開講座]	
2008年3月22日	第4回クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま における「音楽講演会」にて「モーツァルトのピアノ音楽～ピアノ・ソナタを中心に～」をテーマに講演。（会場：茨城県教育研修センター1F 大研修室）
2008年4月12日	朝日カルチャーセンター公開講座「ブラームス 室内楽の魅力」（会場：朝日カルチャーセンター新宿〔東京都〕）講師 ブラームス「6つの小品作品 118」「三重奏曲作品 101」「ヴァイオリンソナタ第1番ト長調『雨の歌』作品 78」「ピアノ三重奏曲第3番ハ短調作品 111」他 演奏：三上桂子、藤原浜雄、毛利伯郎
2008年7月30日	2008 レクチャーコンサート プッチーニ生誕150年記念「アリアで楽しむプッチーニのオペラ」（会場：調布グリーンホール小ホール）において、「ラ・ボエーム」と「蝶々夫人」の作品を中心に、オペラづくりや音楽や演奏について、加賀清孝教授と共に解説。
2009年1月25日	（社）全日本ピアノ指導者協会 東京支部主催「ピティナ・ピアノ指導セミナー vol.37」（会場：東京音楽大学 J館スタジオ）において「ハイドンのピアノソナタ」をレクチャー。
2009年5月16日	「メンデルスゾーンの生涯を辿る」 第1回「メンデルスゾーン家の歴史と若きメンデルスゾーン」講演（調布市西部公民館）
2009年6月13日	第2回「ゲヴァンハウス管弦楽団指揮者就任から早世するまで」講演（調布市西部公民館）
2009年7月25日	第3回「レクチャー・コンサート」 演奏：大学院大学修了生及び学生（調布市グリーンホール小ホール）
2009年6月27日	調布市調布音楽祭 芸術講演会 「モーツァルトー音楽と旅とその生涯」（レクチャー・コンサート）演奏：大橋ゆり、梅津美葉 他（調布市グリーンホール）

2009年4月～7月18日	調布市市民講座「ハイドン再発見」(調布市文化会館たづくり) 全8回
2009年10月～2010年1月	調布市市民講座「名曲を生んだ都市の音楽史ー音楽でめぐるヨーロッパ」(調布市文化会館たづくり) 全8回
2009年4月25日	朝日カルチャーセンター新宿教室公開講座「ドビュッシー、ラヴェル、フォーレ 栄光のフランス近代の音楽」(レクチャー・コンサート) 演奏:藤原浜雄、毛利伯郎、三上桂子
2009年4月～5月	朝日カルチャーセンター新宿教室公開講座「都市と音楽」「ミュンヘンと音楽」全4回
2009年7月～8月	朝日カルチャーセンター新宿教室公開講座「都市と音楽」「ベルリンと音楽」全4回
2009年10月～11月	朝日カルチャーセンター新宿教室公開講座「ナショナリズムと音楽」全4回
2010年1月～4月	朝日カルチャーセンター新宿教室公開講座「大作曲家とピアノとの出会いーバッハからリストまで」全5回
2010年1月～2月	ヤマハ立川店音楽講座「ブラームスとピアノ音楽」全3回
2009年5月～9月	江東区砂町文化センター講座「名曲に隠された世界史のドラマ」全6回
2010年1月～3月	江東区砂町文化センター講座「ショパンの生涯」全4回
2009年9月～11月	桐朋学園大学附属子供のための音楽教室 水戸教室音楽講座「大作曲家の愛したピアノ」全3回
2009年10月2日	日本ピアノ教育連盟関東甲信越支部 マンスリーセミナー「ブラームス後期の小品について」
2009年10月31日	桐朋学園大学附属子供のための音楽教室 仙川教室音楽講座「ドビュッシーとピアノ」
2009年4月19日	日本ブラームス協会「レクチャー・コンサート」
2009年8月9日	「シューベルトとブラームス」(OAGホール)
2009年12月6日	「メンデルスゾーンとブラームス」(ヤマハ銀座店)
	「メンデルスゾーン生誕200年記念 ブラームスとメンデルスゾーン」(OAGホール)
2009年3月～5月	宮地楽器小金井音楽教養講座「名作に隠された謎 バッハ・ベートーヴェン・ショパン」全3回
	NHK FM「クラシック・カフェ・スペシャル」解説(NHK)
2010年1月1日	第1回「今年記念の作曲家(1) ～生誕350年、300年、250年～」
2010年1月2日	第2回「今年記念の作曲家(2) ～生誕200年～」
2010年1月3日	第3回「今年記念の作曲家(2) ～生誕150年～」
	テレビ朝日「題名のない音楽会」(テレビ朝日スタジオ)
2010年2月7日	第1回「クレイマー・さち子教授の新説・音楽史の法則」
2010年3月7日	第2回「題名を考える音楽会」